

議会報告会【建設常任委員会所管分】

会場	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	現地調査	担当課記入欄
上野目	市道の法面刈り払い作業が、高齢化のためできずに除草剤を使用するために法面が崩壊しやすくなっている。	担当課に申し入れる。		市道山際下宮1号線の法面と推察されるが、当該路線の法面については、道路下の水路までの勾配が急であり、本来であればブロック積等の恒久的な構造物の設置が必要であります。予算的にも莫大な金額となることから現実的には困難であるため、維持管理の中で対応して参ります。
大貫	県道古川登米線は、内陸部から沿岸部に通じる重要な道路であるが、整備状況は大丈夫なのか。また、涌谷田尻線は、上南から上長根間の幅員が4m以下のため交互通行ができない状況だ。さらに、田尻河南線を内陸から沿岸部に抜けるように整備してほしい。	建設課を通じて県へ申し入れる。		主要地方道古川・登米線整備促進委員会を田尻地域大貫地区関係区長を中心に組織し市と共に要望活動を行っている。本年度、新田目・長根間の測量調を査実施しています。予定では31年に供用開始の見込みです。 河南・築館線については、涌谷町長を会長とした同盟会で要望活動を行っています。現在涌谷松崎地区の改良（27年度改良予定）を行っております。県からは古川・登米線の改良後、検討したい旨の回答をいただいています。
大貫	自宅前市道（未舗装200m）の砂利整備をしてほしい。	市道については、田尻総合支所に要請する。		11月20日に敷き砂利整備済み（太田獣医宅までの道路）
高倉	防雪対策について、矢目堤根線に3カ所の防雪ネットがあり、ジョイント部分など一部は修理してもらった。地吹雪地帯を年末まで調査すると業者が来たが、船形おろしがすごいため市道の通行ができないので、しっかり調査し防雪ネットの新設をしてほしい。	市道堤根矢目線の防雪柵設置については、平成26年度に測量設計業務を実施し、工事は平成30年度から2箇年計画で整備をする予定となっている。なお、台所線については平成27年度から工事着手の予定である。		市道堤根矢目線の防雪柵設置については、平成26年度に測量設計業務を実施し、工事は平成30年度から2箇年計画で整備をする予定となっています。なお、台所線については平成27年度から工事着手の予定です。
高倉	県道坂本古川線はかなりの交通量があるが1カ所幅員が狭くなっている。通学路でもあり事故が心配なため、対策を講じてほしい。	昨年も指摘された。県でもこれまでの交渉で条件が合わなく用地買収を諦めた経緯があるが、地権者が買収に応じる場合、市は尽力するとのことである。		県でも現況は承知しているとのこと。解決に向け模索をしているとの回答をいただいております。市としても県と解決にむけて協力してまいります。
三本木	多田川支流の長堀川が、川底に土などが崩れたりして雨が降ると水害になりやすいので、改修してほしい。	以前にも県に要望しているが、今後も努力していく。		国道4号下流側の区間について河川管理者である宮城県北部土木事務所に改修要望し、現地の確認を頂いております。早期事業着手に向け、今後とも強力に要望活動を行ってまいります。 また、上流は県営かんがい排水事業が平成31年度から平成35年度にかけて予定されております。

議会報告会【建設常任委員会所管分】

会場	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	現地調査	担当課記入欄
三本木	米袋から市民病院へ向かう道路そばの大江川の河川環境が悪い。堀の中は草ぼうぼう、セイタカアワダチソウも一杯、川も埋ってきている。せっかくの排水機場も役にたたないのか。	川の法面の除草は県からの委託を受け、地元の農家の皆さんが行っている。大江川の排水機場は平成8年に国会議員に現地を視察していただき、強く要望し完成した排水機場である。あれが完成してから2日も3日も冠水することはなくなった。これからも冠水地帯の解消に議会を挙げて取り組んでいく。		<p>新大江川については、セイタカアワダチソウ、支障木等の植物が繁殖して河川景観を著しく悪化させているとともに土砂も堆積していることから、河川管理者である宮城県に、支障木の撤去や植物の除去、堆積土砂の浚渫をH26.10にも要望しており、今後も引き続き要望してまいります。</p> <p>なお、H26は下流側の支障木の伐採を予定していると伺っております。</p>
三本木	台風19号の大雨で三本木二堀川、長堀川付近の水田が沼状態となり、水田の稲わらが一方に流される。なんとか排水対策をお願いしたい。	旧カーボーイの北側にある水田地帯でとのことだが、要望に応えるように取り組んでいきたい。		<p>農地内の排水路が未整備で長堀川への排水が不良であることと、長堀川の流下能力低下の状態にあるので、国道4号下流側の区間について河川管理者である宮城県北部土木事務所に改修要望し、現地の確認を頂いております。早期事業着手に向け、今後とも強力に要望活動を行ってまいります。</p> <p>また、上流は県営かんがい排水事業が平成31年度から平成35年度にかけて予定されております。</p> <p>一体の水田は工場適地としての利用も想定されますが、圃場の排水路整備の検討も関係者において必要と思われれます。</p>
川渡	川渡大橋の改修の方向性は。	調査が終わり、架け替えか補強か、現在検討中である。		川渡大橋につきましては、平成25年度より詳細調査を実施しておりましたが、調査結果より耐震補強工事は、河川法による構造令基準を満たさないため管理者より許可が得られない状況にあります。今後の対応につきましては、地域づくりも含め橋梁のあり方について地域と一緒に検討してまいります。
川渡	寺への市道拡幅はできないか。	河川法など検討してみたい。		市道小身川線は兼用堤（1級河川江合川）であり、拡幅の際は河川管理者との協議が必要となります。あわせて権限確保が必要となります。祥雲寺付近の最も狭隘な区間は堤外・堤内を含めて広大な筆界未定地となっていますので、その確認には相当な期間が必要となると思われれます。市道の拡幅については、長期的な取り組みが必要であると考えております。
東大崎	大西団地北側の清水川の泥土浚渫を3年前から要望書を上げ要請しているが、実行されない。人手で対応できないし、環境も悪化してきている。対処願いたい。	現場の状況は理解できる。要望書の扱いについて早急に確認し、実現へ向け努力する。		平成27年3月に堆積土砂の多い下流部分を実施しております。

議会報告会【建設常任委員会所管分】

会場	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	現地調査	担当課記入欄
東大崎	これから冬期間に入るが、横走線の防雪柵の設置やスクールバス対応の計画はどう進んでいるのか。	台所線防雪柵については、平成26年度で設置のための調査測量をし、次年度以降で設置する計画である。なお、冬期間のスクールバスは今年から運行する。		【防雪柵の設置】 市道台所線の防雪柵については、平成26年度に測量設計業務を実施し、工事は平成27年度から4箇年計画で整備をする予定となっています。
東大崎	大西団地前R47号坂本に向かう交差点信号機上り線に、右折→の信号の設置を願う。毎朝大変な渋滞となっている。	担当課と対応策を検討する。		古川警察署交通課に要望して参ります。
東大崎	建設課関連の整備要望に対して、現地立会も行いながら、いまだに返答も対処もなく誠実さが感じられない。	即実行できないまでも、検討結果や対処について回答するのは当たり前のこと。執行部へ徹底させたい。		現地立会を行ったのにも関わらず、その対応方針や検討結果を回答していなかったことに対し深くお詫びいたします。現在建設課では、要望を受けたときは、建設課で現地確認を行った後に要望者にその結果や対応方針を伝えることとしております。過去の要望に対し数年が経っても実現されていないものや動きのあるものについては、後日、回答してまいります。
東大崎	道路整備・修繕を要請してもなかなか実行されない。同種の地域要望が多いと聞くが、順番待ちなのか。不合理でないか。	道路の維持管理予算は増額されているが、要望箇所に対応できていない状況である。なお、整備順は受付順ではなく、損傷の状況や路線の重要度などを加味した道路維持管理計画を策定し、優先順位をつけて実施している。		維持管理予算は年々増額されてはいるものの、要望箇所のストックが多くなかなか追いつかない状況です。 舗装等の修繕については、損傷の状態や路線の重要度などを加味した修繕計画を策定し、優先順位をつけて実施しておりますので、ご理解願います。
東大崎	東大崎小の東側道路沿いの側溝グレーチングが緩く、車が通るごとに終日音が響き、生活環境に影響している。担当課も承知をしているが改善されない。	担当課に申し入れ、対処させたい。		問い合わせの場所については、既存蓋の修繕にて対応済みです。対応が遅れてしまったことについて深くお詫びいたします。
東大崎	R47から藤棚橋に至る道路が傷みやすく、通行に支障がある。その都度直営で修繕されるが効果がない。加熱処理による本式の舗装にしてもらえないか。	担当課に伝えながら、最善の策を講じられるよう努力したい。		当該場所については、直営による補修も限界だと考えているので、関係機関（河川管理者）と協議を行いながら、舗装を打換えする方向で検討します。

議会報告会【建設常任委員会所管分】

会場	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	現地調査	担当課記入欄
鹿島台	内ノ浦地区は二線堤バイパスで分断された。市道内ノ浦2号線の説明会があったが、大雨が降ると避難準備段階でパニック状態になるので、水防倉庫の空き地を一時避難所に出来ないのか。	隣接する志田谷地地区には避難所があるが、内ノ浦地区にはまだない。現地調査を実施しながら検討したい。	○	水防倉庫の空き地と二線堤バイパスの未供用区間を暫定的に農機具等の避難場所として利用出来ないかということですが、国は沿岸部の復旧・復興を鋭意実施しており、二線堤の一部区間は現在休止しています。休止箇所は、工事残土の仮置き場で締固めは行われていませんし、将来的に撤去する予定ですので、避難場所として利用することは不可能と国より聞いております。 内ノ浦地区の避難場所につきましては、内ノ浦地域住民の意見を踏まえながら検討してまいります。
鹿島台	大雨降雨時には、気象庁でも時間最大雨量の気象変化を伝えている。これまでの鹿島台地域の水害対策状況と、全体的な解決策への取り組みはどうか。また、山王江排水機場は湛水防除事業だが、都市災害としての対策は出来ないか。	水害に強いまちづくりモデル事業としての「吉田川二線堤及び国道346号鹿島台バイパス」が平成6年に事業着手され、平成14年には500m区間を一部供用開始し、平成25年3月23日には3,620m区間も供用開始となり、二線堤内家屋約860戸と浸水面積約230haの解消に目途が立ち堤防機能も強化されている。現在は、内水排除が問題となっているが、姥ヶ沢地区にはポンプが設置され、内水排除対策の基本設計も作成中である。また、市内各地でも常襲冠水地区が問題となっており、着実な対策を進めていきたいと考えている。なお、山王江排水機場の整備では都市型事業になるよう取り組んでいきたい。		公共下水道雨水計画では、上流域の雨水調整機能としてバイパス管渠の整備と調整池の容量を大きくする整備を進めてまいります。 また、調整池等の整備後、下流域の山王江断面不足箇所のバイパス管の整備も予定しており、勿龍(はねりゅう)地区ほ場整備事業も予定されていることから、今後協議を行いながら進めてまいります。 山王江排水機場は今後、県営事業で既存施設の長寿命化対策で機能保全工事を平成30年度から実施する予定であります。
鹿島台	内ノ浦地区の内水排除問題は市議会でも見られているが、国との関わりが大きいので、県と密接に連携して取り組んでほしい。また、所管委員会で現地視察する場合には住民との懇談の場を設けてほしい。	県ともよく連携して取り組んでいきたい。また、今後所管委員会で現地視察する際には、意見交換する場も検討していきたい。		内ノ浦地区の農地冠水の原因と考えられる品井沼遊水地のサイフォン式排水路の調査業務の実施と、内ノ浦第1サイフォンゲート点検口の嵩上げ補修について、県に強く働きかけてまいります。

議会報告会【建設常任委員会所管分】

会場	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	現地調査	担当課記入欄
塚目	大江川の浸水対策について、兩岸の嵩あげの予定があると聞いているが、どうなっているのか。また、稲葉一丁目付近では水が淀む箇所があり、改善してほしい。	大江川の橋に合わせて嵩上げの協議と稲葉江との改良の協議があり、一部改良済みであるが、ササエ本屋の橋の高さまで嵩上げの計画である。		市道稲葉飯川線の嵩上げは、国道4号から西側は本年9月に完成しております。東側につきましては、宅地地盤高さの調査結果を踏まえ、地元と協議の上、嵩上げ高さの計画を策定し、整備を進めてまいります。 宮城県管理の大江川については流下断面確保のための浚渫及び維持管理を要望しております。
塚目	栄町付近も冠水地帯で、大江川の護岸整備、現地確認をし、改良してほしい。	県に対策を要望し、一部は若干改善されたが、要望にそえるよう努力したい。		宮城県管理の大江川については流下断面確保の為の浚渫及び維持管理要望を行い、平成25年度は市道稲葉飯川線から市道大崎大通線までの浚渫及び嵩上げを行って頂きました。本年10月にも県へ要望し、本年は城西地区の浚渫を実施すると伺っております。下流の浚渫など継続的な維持管理について引き続き強く要望して参ります。 市は、古川江を大江川下流部まで延伸させ浸水被害の軽減を図る計画で、平成27年度から工事に着手予定です。
塚目	新大江川の建設の際、大江川の冠水を考慮されたのだろうか。	考慮されていると思うが、上流、下流で冠水が確認されている。対策を申し入れる。		新大江川も大江川も県管理の河川でありますので、流下断面確保の為の浚渫及び維持管理を引き続き強く要望して参ります。
塚目	新大江川の法面の作業を町内会で実施した。管理（地域）上、予算計上すべきと要求したのですが、新大江川の管理は県か、市か。	法面については市で除草している。川床は県管理のため、県へ浚渫等を要望していく。		新大江川は県管理の河川でありますので、支障木の撤去や植物の除去、堆積土砂の浚渫について、今後も引き続き要望してまいります。
塚目	北原地区工業団地の造成工事計画で、米倉江、千刈江の改良と、市道米倉線の幅員等道路改良を要望したい。また、市民病院へのアクセスとして塚目、西荒井線の幅員改良整備を要望したい。	北原工業団地の事業着手に当たり、宮城県、土地改良区との協議経過を確認し、改良を求めている。なお、北原工業団地より国道47号までの市道は、平成28年度から改良工事が予定されている。		北原地区工業団地より国道47号までの区間については、平成28年度より改良工事を予定しておりますが、工業団地の取付道路より南側につきましては、地域にとり重要な路線として認識しておりますので、今後、道路整備計画を検討のうえ、実施計画に載せて計画的に進めてまいります。
志田	県道坂本古川線の踏切に歩道がなく、通学路として危険だ。新市民病院がオープンしてから、これまでの大型車に加え救急車の往来も加わり非常に危険な状況だ。昨年、市長はJRに話していると言っていたがどうなのか。	建設常任委員会現地調査を行った。現在、要望活動をしている最中である。		市道飯川耳取り線の志田踏切につきましては、踏切に歩道がないため大変危険であることは、十分認識しております。昨年の12月に市長がJR東日本仙台支店へ要望書を提出しております。踏切の統廃合や立体交差などの課題がありますが、今後も早期の歩道設置に向けて努めてまいります。

議会報告会【建設常任委員会所管分】

会場	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	現地調査	担当課記入欄
志田	東日本大震災から約3年半が経過し、ソフト面での復旧は進んでいると思うが、ハード面では要望書を出しても優先順位があるので、いつになるかわからないと言われる。渋井では水路、道路関係の要望書を出しているが、いつ頃になるのか返事がほしい。議会でもどこから要望書が出ているかチェックして行政へ訴えてほしい。	市では、損傷の状態や路線の重要度などを加味した優先順位をつけて修繕している。なお、要望への回答については、執行部へ申し入れ、対応させていきたい。		<p>舗装等の修繕については、損傷の状態や路線の重要性を加味した修繕計画を策定し、優先順位をつけて実施したいと考えております。維持管理予算は年々増額されているものの、要望箇所のストックが多くなかなか追いつかない実情であり、施工時期を明示するのも難しい状況ですが、できる限り要望に応えられるよう努力して参ります。</p> <p>渋井地内の土側溝整備に関する要望については、H25.5、H26.6に要望書が出され、現地確認を行い、法面が崩れる等緊急性の高い箇所については、H25に材料支給をし地元の協力により施工頂いております。</p> <p>排水路整備の要望は各地区から毎年多く頂いており、これらを効率的・効果的に整備するため評価基準を設け整備計画を策定しているところで、要望のありました他の路線につきましても、ストック路線として順次整備を行っていく予定であります。</p> <p>この整備計画については、区長さんにH26.6に電話で連絡済みでございますが、施工年度にならないと改めて区長さんに連絡していない事から大変ご迷惑をおかけしています。実施可能となりましたら連絡を申し上げますので、何卒ご協力とご理解をお願いいたします。</p>
志田	県道坂本古川線は昼夜を問わず、ダンプカーやバスなど大型車が多く、スピードを出して通行する。最近も神社前の信号でオートバイと4トントラックが衝突し、死亡事故が起きたばかりだ。住民から車の振動で夜眠れず、ノイローゼになるとの訴えがある。地盤改良かアスファルトを厚くするなどの道路の手当てをしてほしい。	新たな要望なので、現地調査を行って対応する。	○	<p>市道台所線と市道飯川耳取線の交差点付近の道路交通振動については、以前から苦情がありましたが原因が特定できないため対応に苦慮していました。</p> <p>現状から考察すると、要因としては自動車の制動に伴う路面の凸凹や路盤の脆弱が考えられるので、交差点内の舗装打換えを行い、その後の経過を観察していきたいと考えます。</p>
富永	天神のところのカーブミラーが小さく見える範囲が狭いので大きいカーブミラーを取りつけてほしい。上埜・鶴ヶ埜の交差点の今冬期間の融雪について	カーブミラーの件と融雪については、市の担当課へ申し入れる。		<p>【交差点の融雪】 上埜・鶴ヶ埜の交差点の融雪作業については、除融雪実施計画に基づき適切に実施します。また、事故の発生状況なども考慮し、必要に応じて強化します</p>

議会報告会【建設常任委員会所管分】

会場	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	現地調査	担当課記入欄
宮沢	市道の枝道（非舗装）補修に必要な砂利を手当してほしい。以前から農地・水環境事業などを実施している集落は十分のようだが、小林集落では取り組んでおらず非常に困っている。是非、必要な砂利量をお願いしたいのだが。	砂利については、古川地域でもある程度対応している状況だと認識している。十分な砂利量が確保できるよう提言していく。		砂利については、行政区からの請求により1行政区につき月に2tダンプ5台（約7.5m ³ ）を限度に支給をしていますので、できる限り活用をお願いします。それでも不足する場合は、別途相談に応じます。
宮沢	圃場整備事業で道路が広がったため、舗装になった道路と非舗装の道路があるが、管理は市と土地改良区のどちらか。また、舗装するためには市と土地改良区のどちらにお願いすればよいのか。	圃場整備後の全面舗装は、換地が終わり市に財産が移管されないとできない状況とのことである。なお、宮城県が管理している幹線道路は平成30年に舗装される予定となっている。	○	ほ場整備事業により拡幅された道路は、従前の幅員でしか舗装がなされないため砂利部分として残ってしまいます。また、圃場整備事業の換地が終了し、財産が市に引渡しされた後に舗装工事を行うのが通常です。舗装の要望は、いずれ管理者となる市で承ります。
宮沢	高速道路の下を通行する際に、ボックスカルパートに色落ちと傷みがあるので対応してほしい。また、長者原ICの24時間化対応もあり、周辺開発を積極的に推進できないか。	現状を所管委員会で調査する。また、長者原ICの24時間化を踏まえた周辺開発については、産業振興と環境保護との関係を整理しながら取り組んでいきたい。	○	高速道下のボックスカルパートについては、現地を確認した上でネクスコとも協議し対応したいと考えています。
宮沢	地域課題として、桜の目橋南側の段差、ヤンマーから川熊間の道路に陥没箇所、志波姫神社からの排水路では悪臭及び蚊が発生し雑草が繁茂している問題もあるので、対応してほしい。	現状を所管委員会で調査する。	○	桜の目橋南側の段差については、道路管理者である宮城県に要望があったことを伝えます。また、ヤンマー・川熊間の道路陥没と排水路については、速やかに現地を確認し適切な時期に対応します。排水路については排水路整備計画に載せ、計画的に整備して参ります。
宮沢	長者原から清滝川熊線の道路段差は、冬期には凍結し危険である。傷みも出ているので、対応してほしい。	この箇所の段差は、暴走族対策で設置された経緯があるので、地元の意向を調査し意見交換しながら対応を検討していきたい。		市道川熊清滝線の段差（ハンプ）については、その必要性を地元や警察署などとも協議しながら、存置するかどうかを決定します。現状で通行に支障や危険性のあるハンプの損傷については速やかに修繕します。
福浦	福浦地区において年間5～6回側溝に自動車が脱輪しているので、蓋をかけた道路幅を広げてほしい。	要望として受けとめ、現地調査を実施したい。	○	側溝蓋の設置については、現地を確認した上で検討します。

議会報告会【建設常任委員会所管分】

会場	質問・意見・要望の要旨	回答の要旨	現地調査	担当課記入欄
福浦	大雨等による江合川の洪水による氾濫シミュレーションの周知が必要ではないか。	鳴子ダム完成後50年以上経過している。一方、江合川の築堤は完了しているが、どういう場合にダムが決壊するかなど調査し、皆さんに報告できるようにしたい。		市のホームページ(わがまちガイド)で、ハザードマップ(浸水想定区域)の項目にて市内の浸水想定区域が閲覧できるようになっています。内容等のお問い合わせ先は防災安全課となっております。平成27年度にハザードマップを作成する予定であります。 なお、さらなる周知につきましては、今後関係機関と協議して参りたいと思います。 また、北上川下流河川事務所のホームページでは北上川水系・鳴瀬川水系浸水想定区域図や洪水氾濫シミュレーションが閲覧できるようとなっております。国の機関より、さらなる情報の提供がありましたら、市民皆様の安全安心のため情報の提供を行ってまいります。
大貫	大崎市民病院本院に通じる道路は渋滞を起こしているが、解決策はあるのか。	大崎市民病院本院への渋滞緩和策として、パレットおおさきの駐車場を活用する案や、お見舞いなどの面会時間を午後からとする案などが検討されています。 【道路整備について…建設部】		現在、都市計画道路李塚飯川線につきましては、鳴子、加美方面や田尻、美里方面から通じる市街地の幹線道路として位置づけられております。前年7月から新市民病院が開院したことにより、より一層の渋滞を招いている状況は承知しております。 このルート上には、国で進めている国道108号東バイパスもありますが、このバイパスが稲葉地区へ接続されることによって、この渋滞も緩和されると期待しています。今後も、バイパスの整備について要望してまいります。 また、現在、市道新幹線東一号線の整備も進めており、平成28年度には、駅前地区より師山を介し米袋まで繋がることから交通量の分散化が図られると考えておりますので、ご理解願います。
宮沢	江合川桜ノ目橋付近の堤防両側が舗装になっているので、市民の健康づくりなどに利用できるよう堤防への登り口も舗装してほしい。	現状を所管委員会で調査します。	○	当該舗装は一級河川区域内の行為になりますので、現地を確認した上で検討します。